



2021. 3. 1.

3月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

今年度はコロナ禍による臨時休業で始まったのですが、まさか最後まで振り廻されるとは思っていませんでした。「毎年実施」を疑っていなかった行事の一つ一つを、どうすればできるか、何のためにするのかと問い続け、結果的に実施を見送る決断が多くなった、悔しい1年でした。

臨時休業措置による休園以外は毎日の保育を継続できましたが、プールもキャンプも、他にもたくさん行事を中止しました。バザーも懇談も参観もできず、特に、保護者の皆さまと顔を合わせてお話しする機会が殆ど無いままになってしまいました。本当に申し訳ありません。

コロナ禍終息後は大きな社会変革が起こると言われています。確かにリモートワークなどの働き方に関する事、外食など飲食サービス業の在り様、マスクやソーシャルディスタンスなどは、もう元には戻らないでしょう。

わたしたちは、親から子へ、子から孫へと世代が交代するのと併せて、未来への希望と将来役に立つだろう知識や技術や体験を引き継いで来ました。しかし現代は、知識や技術は、世代交代よりも速く変化していて、私たちは何を引き継ぐべきなのかが解らなくなっています。そうして世代間ギャップが顕わになってきているのだと思います。そこへ出現した今回のコロナ禍は「これまで」と「これから」の間に明確な線を引くのだらうと思います。

でも、人は生きて死ぬ、つまり「生きる」ことは不変です。

YMCAの願いは、自分も社会も幸せに生きることが出来る人を育てることです。そしてYMCA幼児教育の目的は生きる力の根っこを育むことです。これは、子どもが「どう生きるか」を理屈ではなく身につけることだとも言えます。

今年は、毎日の生活も、気持ちの在り方も、人との接し方も、色々なことが今までとは違う年だったけれど、私たちは心を尽くし、思いを尽くして保育をしてきました。先が見えない未来に向かう子どもたちの心に、明るい希望を抱くことが出来る、根拠のない自信が芽生えてくる、そんな生きる力の根っこを育むことが出来たはずだ、夢を託すことが出来たはずだと思っています。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙 15章 13節)

3月主題 『なかまと心はずませて』

<聖句> 「わたしは必ずあなたと共にいる。」

(出エジプト記 3章 12節)